

2024 年度 応用地形判読士資格検定試験（通算第 12 回）

《学科試験-3 の解答と補足説明》

問 26. 航空機などに、その位置を測る装置、姿勢を測る装置および測距装置を搭載し、詳細で高精度 で面的な標高データを取得する測量技術の名称。
航空レーザ測量（こうくうれーざそくりょう）：「航空機レーザ測量」も正解としました。航空レーザ測量には UAV や気球なども含まれます。「レーザプロファイル」等の解答がありました。設問は「航空機などに位置、姿勢、測距装置を搭載し」とあることに注意してください。
問 27. 主に洪水時に、河川の流路沿いに、主として砂やシルトが堆積してできた微高地の名称。
自然堤防（しぜんていぼう）：「堤防」の文字の誤字が多くありました。
問 28. 本流の侵食力が支流に比べ著しく大きいときなどに、支流が滝または早瀬となって本流に合流 するような谷地形の名称。
懸谷（けんこく）：「ハンギングバレー」を含め正解者 3 名、「V 字谷」、「侵食谷」など種々の誤解答がありました。各地の山地で認められる地形で、黒部峡谷や南アルプスの早川上流などの峡谷部に多くみられます。
問 29. 一般に、断層変位が地表に及ばず、地層が断裂することなく曲がるように塑性変形して生じた 地質構造の名称。
撓曲（とうきょく）：「とう曲」も正解としました。「撓」の文字の誤字がありました。「褶曲」「横臥褶曲」などの誤解答がありました。
問 30. （大規模な噴火に伴い）広域に分布しかつ、保存状態がよく、特徴が明瞭な降下火砕物の名称。
広域テフラ（こういきてふら）：「広域火山灰」も正解としました。設問は用語ですので「テフラ 鍵層」は正解となりません。誤解答は「テフラ」14 名、「火山灰」などがありました。設問のキーワード「広域に分布、特徴が明瞭、降下火砕物」に注意してください。

